

このようなかたちで取り組んでいます！



家庭では

- 乳幼児からの読み聞かせ
- 家族で好きな本を楽しむ家読うちどく
- 読書習慣を身につけるための生活リズムをつくる



地域では

- 市立公民館など様々な世代の人が集まる施設でのリサイクル本コーナーの整備
- 市民主体で行う読書イベント

市・図書館では

- 読書活動や調べ学習に対応できる図書館資料の充実
- 展示資料、さわる絵本、音声資料など誰もが読書に親しめる図書館資料の整備
- 図書館内の展示の工夫 ●読書に親しむ図書館イベント
- 市内全域で利用できる図書館サービス（移動図書館、配本システム）の整備
- 乳幼児向け絵本のプレゼント ●乳児健診での図書館利用案内

学校では

- 小中学校での計画的な図書整備
- 学校図書館、市立図書館、移動図書館の利用
- 朝読書、全校一斉読書、新聞を使った学習、読書に関するイベントなどの取組
- 県の計画に基づいた読書活動や公共図書館での職場体験

民間団体では

- 学校・図書館・保育所などでの読み聞かせや読書イベント
- 積極的な図書・読書ボランティアへの参加
- 自主的な読書の仲間づくり ●乳児健診での読み聞かせ

移動図書館を毎回利用しています。

滝川 達夫さん
(御厨・駅通)



移動図書館が家の前に停まるので、毎回利用しています。

高齢になって車の運転が困難になり、本館まで行く機会がないため大変ありがたいです。昔は小説などをよく読んでいましたが、最近は武士の話を書いた歴史の本をよく読んでいます。

視力が低下したため、図書館に所蔵されている大きな活字の本を読んでいます。図書館の人が、自分が読んでいる本の続きを手配してくれるので助かります。

読書は知識や語彙ごいが身につく大変良いことです。やめられません。

健診時や学校で

子どもたちに読み聞かせをしています。

松江 房子さん
(調川・前浜団地 写真左)



昭和50年頃から読み聞かせを行っています。たくさん子どもと触れ合ってきましたが、みんな4か月頃から絵本に興味を持ち始めます。より本を好きになってもらうためには、早くから読み聞かせを行うことが大切だと感じています。

津田 ふじ子さん (今福・滑栄 写真右)

読み聞かせを行うようになり、6年ほどになります。松浦市は、図書館を起点として読書の輪が広がっていると感じています。本を読み、知識を蓄えることで、生活の中のふとした瞬間でも幸せを感じることができるので、おすすめです。

松浦市立図書館には



「松浦」を調べたい



点字がついた本



大きな文字も読みたい



各種雑誌



くらし、住まいを考える



シニア向けの本



開くと飛び出す！



趣味・スポーツ

色々な本があります

やってみませんか？

うちどく
家読



「家読」とは、家庭での読書を通じて家族とのコミュニケーションを図る取り組みです。

決まったルールやスタイルはなく、家族で読書をする時間を決めたり、大人が子どもたちに読み聞かせをしたり、折り紙や料理の本などを一緒に読みながら実際につくってみるなど自由に取り組むものです。

子どもたちが本に親しむきっかけをつくり、読書に興味や関心を高めることができるよう「家読」に取り組んでみましょう。

市立図書館のほかにも…



学校図書館



移動図書館

【問合せ先】
松浦市立図書館 ☎72-4677

本を読むことは、人々の知識や語彙を豊かにするだけでなく、考える能力（思考力）や感じとる力（感受性）を身につけることにもなります。

また最近では、ストレスが解消され、仕事や日常でのヒントを得ることができ、視野が広がるなど、様々な効果があると言われています。

松浦市は「読書活動推進計画」のもと、多くの人が本と触れ合う楽しみを皆さんに届けられるよう努めていきます。

家の中で過ごす今年の秋は、「読書の秋」にしてみたいかがでしょうか。